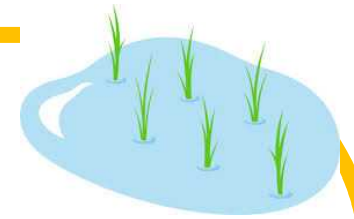




田植え体験学習（染谷農園さん）



5年生が「総合的な学習の時間」に田植えを、染谷農園さんで体験学習させていただきました。水田にイネの苗を植える「田植え」は、ほとんどの児童は初めての体験です。

水田に入ると、足が泥に触れ、始めは「キヤーキヤー」という声が聞こえましたが、そのうちみんな真剣で、声も出なくなりました。田植えならではの体験です。



このような体験は、下記のような良い点があると思います。

- ・ 田植え体験は感覚を刺激してくれるので、豊かな感性が育つのではないのでしょうか。また、米作りに対する興味・関心が高まることと思います。
- ・ 農家の人や地域の方など、様々な立場の人との適切なコミュニケーションが身につくのではないかと思います。
- ・ 生産や収穫の喜び、食料の大切さを実感し、米一粒を大切に扱うようになると思います。
- ・ 農業に関する現代的な課題に関心を抱き、自分なりの考えを持つようになるのではないかと思います。





「米」という字が八十八という数字を組み合わせて作られているのは、お米ができるまでに 88 回の手間がかかるという説もあるように、たくさんの手間をかけてお米は作られます。

今日は、染谷さんはじめ、ワンダーランドの方々、倉松川を愛する会の方々、5年生の保護者の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今日植えたイネは、9月に収穫できるそうです。9月までのお世話、よろしくお願いします。



収穫を楽しみにしています。

イネの品種は、「彩のきずな」です。「彩のきずな」は、埼玉県農林総合研究センター（現：埼玉県農業技術研究センター）で、平成15年に交配を行い、9年間かけて選抜し、育成されたものです。

学校給食でも、この品種「彩のきずな」を使用しています。



